

森と緑の会だより

2018
春号

TOPICS

特集：森の名手・名人から学ぶ「土佐の山仕事」

土佐備長炭スタディツアーア

平成29年度実績報告

・緑の募金による植樹活動

・緑に関するボランティア活動の支援

・子どもたちの森林体験・学習など

表紙の写真：四万十川沿いの桜並木（四万十町）

高知県緑サポーター会や各地域の「緑と水の会」などのボランティア団体が、平成19年頃から「緑の募金」などで、県内の桜の手入れやてんぐす病の治療を行っています。

地域の方からは、「花がたくさん咲くようになった」と喜ばれています。

森の名手・名人から学ぶ「土佐の山仕事」

土佐備長炭スタディツアー

平成 30 年 2 月 25 日（日）に行われた「土佐備長炭スタディツアー」。21 人の参加者と一緒に、平成 29 年度「森の名手・名人」に選定された森本生長氏を訪ね、土佐備長炭の生産や森林資源利用により守られる森林環境について学びました。

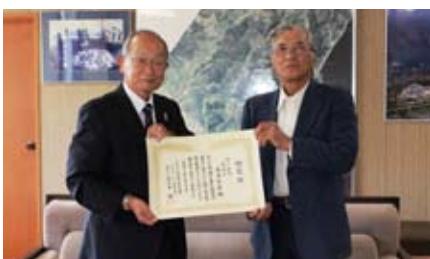


室戸市羽根町で土佐備長炭を生産している森本生長さん



ウバメガシの特徴や生育状況、木材の伐りだしなどについて説明をうけました。

「森の名手・名人」100 人選定



平成 29 年度森の名手・名人に認定された森本生長氏（写真右）と推薦者の室戸市長 小松幹侍氏（写真左）

土佐備長炭は、ウバメガシなどのカシ類の木を原料とした白炭で、長時間火力が安定し、均一に燃え、煙が少ないので特徴です。ウナギのかば焼きや焼き鳥などの「焼き物」にはかかせない存在で、高級料亭などでも使用されています。

材料となるウバメガシは、高知県の海岸附近、特に東部や西部に多く生育していることから、東洋町や室戸市、そして最近は大月町で備長炭の生産が行われています。

全国では和歌山県、高知県、宮崎県が主な産地で、平成 26 年からは高知県が全国 1 位の生産量となっています。

森林資源を活用した土佐備長炭の生産で、最初の工程となるのが、材料となる木材の調達です。

ウバメガシは、海岸沿いや岩場など厳しい環境で生育する樹木で、緻密で硬い性質は備長炭の材料に適しています。

ツアーで見学した伐採地もかなりの急斜面で、過酷な条件下で木を伐りだし、運搬するのは大変な作業だと実感しました。

森本さんは研修生の受け入れもしていますが、林業の厳しさから備長炭生産をあきらめる人もいるそうです。

長年、森を生業や生活の場とし、そこで生きるための伝統的な知恵や優れた技能を受け継ぎ、地域や同業者の模範となる方が毎年全国で選定しています。高知県ではこれまでに 25 人が選定されています。

そま師、しいたけ栽培、竹細工、炭焼き、紙漉きなど、さまざまな技術を持つ名人が選定されています。是非、ご推薦ください！

平成 30 年度「森の名手・名人」選定

募集期間：5 月上旬～6 月末頃

※詳細は、当会ホームページでお知らせします。

森林保全のためには、木材を利活用して、森林を循環させることが必要です。

ウバメガシなどの広葉樹は、伐った後の切り株から芽を出します。備長炭の材料には、20年ぐらいのカシ類が適当とされるが、一時期需要が減少し、伐採されることなく成長した樹木も多いとのことです。適齢期を過ぎると、炭材としての価値が下がるだけでなく、土砂崩れが起きやすくなるなど、森林荒廃にもつながります。

森本さんは、1年に1ヘクタールほどを伐採することなので、炭焼きを続けることで20ヘクタールの森林が循環することになります。

また、伐採して若返った森の木々は、二酸化炭素（温室効果ガス）を吸収し、成長します。ある一定まで成長すると、木々の光合成は弱まるため、地球温暖化防止のためにも、森林を循環させることが大切です。

森林資源の利用は、炭焼きだけでなく、森本さんの日々の生活にも活かされています。Uターンで室戸に帰ってから、炭焼きを始め、現在は自給自足に近い生活をされています。参加者からのどんな質問にも、経験から得た技術や知識で答えられる森本さんは、まさに「森の名手・名人」でした。



昼食は土佐備長炭でバーベキュー！

赤々と燃える炭が美しいです。森本さんが捕ってきたイノシシヒカ肉、自家製お野菜と一緒に煮込んだお手製のシシ汁をいただきました。



伐採した木材は、長さを切り揃えて窯に入れ、炭にします。



焼きあがった備長炭の切断を体験させてもらいました。



出荷用に切り揃えた土佐備長炭。
森本さんの炭は主に関東に出荷されています。

国土緑化運動・育樹運動ポスターコンクール「標語の部」特選入賞 「育てよう 日本の緑 つながる笑顔」

このコンクールは、子どもたちに森林・樹木の保護・育成について「絵」や「標語」で表現することで「緑を守ることの大切さ」について考えてもらいたいと、毎年国土緑化推進機構が行っています。平成29年度は、標語の部には全国から324点の作品の応募がありました。

その中から2点が選ばれる「特選」に高知県立高知農業高等学校1年の森大地さんの作品が見事選ばれました。森さんの標語は、平成30年育樹運動のポスターとして使用されます。ポスターは今年の夏頃から全国で配布されます。



高知県立高知農業高等学校
1年 森 大地さん



木に親しんで 緑にふれて 子どもたちの笑顔いっぱい

緑の募金では、子どもの頃からの自然体験を大切に考え、木や自然と触れ合う機会を提供しています。いろんな経験を通じて、自然を愛し、大切にする気持ちや環境を守るために小さな一步を踏み出すきっかけになればと願っています。

拾ってきた木の実で クリスマスリースとツリーを作ろう！

本山保育所の5歳児30人が、嶺北産間伐材で作られた木枠に自分たちで集めた木の実を飾って、クリスマスリースとツリーを作りました。木の香りや手触りを感じながら、森の魅力を感じ、興味を持つてもらえたらしいなと思います。



出来あがった作品に、にっこり笑顔いっぱい！

森の働きについて学ぼう！ 大宮小学校体験林業教室

大宮小学校5年生24人が、森林の働きや林業について学んだ後、香美市香北町の民有林で間伐体験を行いました。香美森林組合のお兄さんに教わりながら、初めての体験を楽しみました。



交代にノコギリで伐りました！

みんなの高森山 花咲かそうプロジェクト

仁淀川町森地区にある高森山。山頂には鎌倉八幡宮があり、地域のシンボルとなっています。近年、雑木が生い茂っていた鎮守の森を復活させようと、地元の人がボランティア団体「高森山花咲か爺さんの会」を結成し、山の整備を行いました。そして昨年度の11月に、近くの別府小学校の全校生徒54人や地域住民が参加して、桜やツツジ等 152 本の植樹を行いました。今年度は、植樹した木に樹木板を設置し、小学校の課外授業で樹木観察できる環境を整えました。



樹木には植えた子どもたちの名前の札が1本1本につけられています。将来、この町を離れても、樹木の成長を見に帰ってきてほしいという願いが込められています。





緑の広がりで地域を元気に! 「緑の募金」による植樹活動

地域を活性化させる植樹活動を支援するために、毎年「緑の募金」で苗木支援を行っています。平成29年度は、高知県内33カ所に1,172本の苗木を支援しました。

この他に、当会の市町村支部による苗木支援も行いました。

※ ★ は本数



募金で植樹活動を支援

今年も高知北ライオンズクラブさんに寄付いただき、いの町天王にハナモモ34本を植樹しました。



ふるさとの森林再生事業

秋の紅葉シーズンには多くの人が訪れる島ノ川渓谷。この場所に春に黄色い花の咲く「みつまた」を植樹して、中土佐町大野見地区の活性化を図りたいとボランティアなど約30人が遊歩道の整備とみつまた500本、もみじ45本の植樹を行いました。



四万十ほたるの里・金刀比羅川の会

人と人のつながりを後世に残し、地域に輝きを与える活動として、親子・おじいちゃんおばあちゃんなどお孫さん等が参加して桜の植樹を行いました。将来お花見をする時に「あの時一緒に植えたね」と思い出せるよい記念になりました。



緑に関するボランティア活動を支援します!

高知県森と緑の会では、「緑の募金」や「緑と水の森林ファンド」、県の森林環境税、国の交付金等によるボランティア活動への支援を行っています。

緑の募金公募事業 平成 29 年度に実施した事業 【初】・・新規事業および新規団体

事業名		実施団体
森林整備	山林保全育成事業 森の再生手法の検証 モニタリング調査と啓発活動	仁淀川流域山林保全育成の会 物部川 21世紀の森と水の会
緑化推進	樹木板設置活用等事業 波川・木漏れ日の道散策道整備【初】	情報交流館ネットワーク 波川公民館【初】

平成 30 年度に実施予定の事業

事業名		実施団体
森林整備	山林保全育成事業 入野松原松苗植樹事業【初】 四万十上流森林公園づくり事業【初】 大野見島ノ川渓谷景観づくり事業	仁淀川流域山林保全育成の会 入野松原保存会【初】 四万十元気村農園【初】 島ノ川修景緑化委員会
緑化推進	奥物部みやびの丘再生事業 白髪山・工石山保全活用事業【初】	三嶺の森をまもるみんなの会 本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会【初】

※毎年 10 月から 11 月末にかけて一般公募し、翌年 2 月の審査会で採択された事業を 4 月から 11 月にかけて実施します。詳しく述べは、当会ホームページをご覧ください。

森林インストラクター養成講座

森林に関する幅広い知識や技術を持った森林インストラクターを養成する講座を実施しました。24人が受講しました。講座では、「森林」「林業」「森林内の野外活動」「安全および教育」の 4 分野について実習を交えながら、全 8 回の講習を行いました。また、講座実施にあたっては、県内の森林インストラクターが講師を務め、過去の講座受講者がスタッフとして参加するなど、人材の資質向上を図る場所にもなっています。



樹木医 × 緑サポーター おおなろ園さくら治療再生事業

県内の緑サポーターを中心に樹木の手入れ等のボランティア活動を行っている高知県緑サポーター会、高知緑と水の会や桜ライオンズクラブ、平成 29 年度樹木医セミナー受講者など 34 人が参加して、高知市福祉牧場おおなろ園（たいようひろば）の桜のてんぐす病の治療（病気になった枝の除去や土壤改良、樹幹に発生したウメノキゴケの除去等）を行いました。

てんぐす病はカビの一種が原因で発生する伝染病で、病気になると花が咲かなくなります。



こうち山の日推進事業

この事業は高知県の森林環境税を活用した補助事業で、平成 29 年度は、体験ツアーや森林学習イベントの開催、山の日一日先生派遣など 34 事業が行われ、のべ 13,976 人が参加しました。

「里山を守ろう～遊歩道を作り、植樹して楽しめる場所に！」森の元気！お助け隊



南国市白木谷地区で、森林整備のための植樹と間伐体験を行いました。高知農業高校の学生さんも参加して、風倒木の処理など、初めての貴重な体験ができました。



森林保全の大切さ
や木材利用の重要性を学びました！

平成 30 年度「こうち山の日推進事業」

募集期間：4 月中旬～5 月末（予定）事業期間：7 月上旬～翌年 1 月末（予定）
詳細については、随時当会のホームページ等でお知らせします。

「山の一日先生派遣」高知県山林協会



小学校や保育園からの要望に応じて森林環境学習等を 24 回実施し、1,724 人が学びました。写真は、高知市の高須幼稚園の年長さんです。卒園記念に木の実や枝を使って、親子でカレンダーを作りました。

森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

平成 25 年度から始まった林野庁の国庫金事業で、里山林と地域住民をつなげることを目的としています。平成 29 年度から第 2 期が始まり、57 団体が里山林の保全管理や竹林の整備、森林環境教育等を行いました。

西山会（四万十市西土佐の団体）



雑木林を皆伐し、3～4 年前に収穫時期をずらした 4 種類の栗を 120 本植えて育てていた場所で、昨年よりこの交付金を活用し、作業道の改修や下草刈りを行っています。日当たりが良い山で育てられた栗は大きく丸々としていて、JA に出荷できる高品質。里山を活用して地域の産業とした良い例です。

こうち森林救援隊（高知市の団体）



麓から人工林、その先が広葉樹の荒廃した森で、全体的に雑木の除去、風倒木や枯損木の集積処理、灌木の伐採等を行っています。山の所有者が、加尾の森を「セラピー森林」とすることをめざしており、道も登りやすく階段状にしている。魅力的な大岩があり、パワースポットとしても利用したいとも考えているようで、将来が楽しみな場所です。

平成 30 年度「森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業」

募集期間：4 月中旬～5 月 7 日（予定）

活動開始：6 月上旬（予定）

里山林保全・侵入竹除去・竹林整備・森林資源利用（しいたけ原木や薪材の伐採、加工等）、
作業道整備、森林環境教育等の事業ができます！



緑の募金にご協力ありがとうございました！

平成29年（平成29年1月1日～12月31日）募金額

11,543,028円

皆さまから寄せられた募金は、地域の緑化や県内各地の森林整備等に役立てられています。

森の教室 どんぐりくんと森の仲間たち

森の働きや大切さを勉強した後にどんぐり蒔きをして
身近な森づくりのお手伝いをしました！



ファミリーマートの店頭募金「夢の掛け橋募金」の協力で国土緑化推進機構が全国で実施する「森の教室」を昨年に引き続き実施しました。佐川町立黒岩中央保育所、土佐市立宇佐保育園、土佐市立こばと保育園の園児180人が参加してくれました。

森の楽しさを伝え、学ぶ
「森づくりのキャラクターショー」



どんぐりくん・エコロンと踊る
オリジナル「森の体操」

「君たちに伝えておきたい
日本の原風景 1枚の手紙」の朗読



どんぐり蒔き



春の「緑の募金」キャンペーン

3/1～5/31は春の緑の募金強化期間です。
緑の募金にご協力をお願いします！

みどりの週間行事 4/13金▶4/15日

時間：9:30～17:00 ※日は16:00まで

場所：高知市中央公園

お得な植木・木製品等の
展示即売会、こけ玉づくり
や寄せ植え、木工体験等
イベントが盛りだくさん♪
遊びに来てね！



賛助会員を募集しています

森林の大切さを伝え、私たち一人ひとりが
森林保全に参加する「森づくりの輪」を広げる
ために、当会の活動をご支援いただける
賛助会員さんを募集しています。皆さま
からの会費は、当会の大切な活動資金とな
ります。ご支援よろしくお願いします！

**【年会費】個人 3,000円から
団体 10,000円から**

※会員様には、森と緑の会だより、ぐりーんもあ、
イベントのご案内等をお送りさせていただきます。

※賛助会費や緑の募金は、特定寄付金として税制上の優遇措
置が受けられます。

発行

公益社団法人高知県森と緑の会

〒780-0870 高知市本町5丁目1番50号中沢ビル4階

電話番号 088-855-3905 FAX番号 088-855-3906

Email : info@moritomidori.com URL : www.moritomidori.com

当会ホームページ
QRコード ⇒ ⇒
イベント情報などを
随時お知らせします

